

③外部知見の活用

【参考事例】資機材物流SCM

23

○ 外部専門家のアドバイスの下、当社がトラックを手配し、物流の流れを整理することで、トラックの積載率向上によるコスト低減や、倉庫の受入頻度低減による作業効率向上を実現しました。

1. 対象品目: 購入資機材(配電用資機材)、修理品・屑品

○ 購入資機材

柱上変圧器、開閉器、電線・ケーブル、カバー類、金物類、
その他諸材料

○ 修理品・屑品

修理が必要な柱上変圧器 → 修理後、再使用
屑電線、屑柱上変圧器 → 銅、鉄などとして売却(リサイクル)
屑プラスチック → 燃料として売却(リサイクル)

2. 背景・経緯

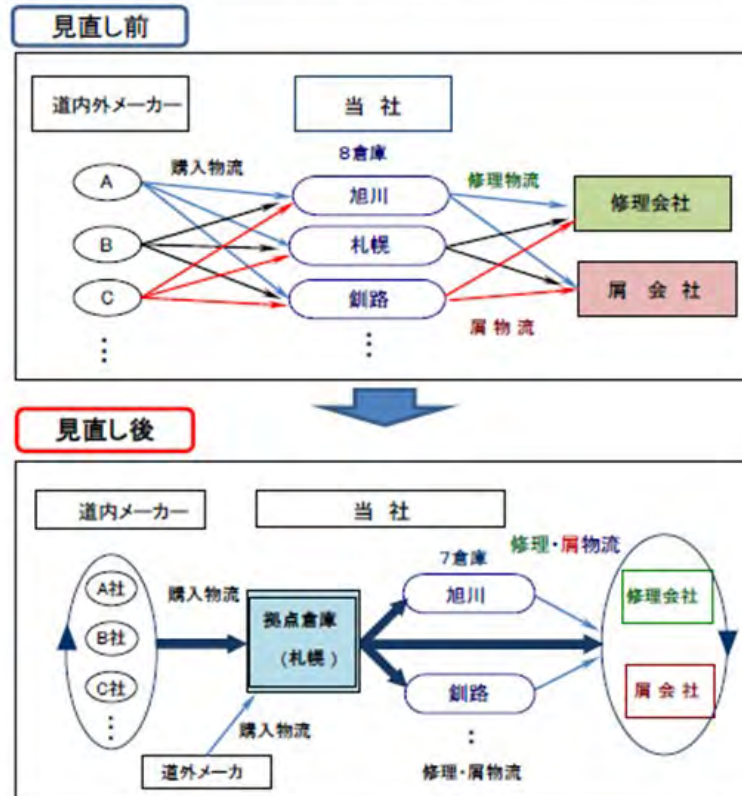
○ 購入資機材、修理品・屑品は、各取引先が個別手配したトラックによって運送されていたため、以下の非効率が生じていた。

- ・物量が分散し、トラックの積載率が低い
- ・受入倉庫では、トラック毎にバラバラのタイミングで受入対応

3. 見直し内容

○ 当社がトラックを手配し、メーカー出荷場所から倉庫までの購入資機材の運送と、その帰便を利用した倉庫から処分場までの修理・屑品の運送を行う仕組みに見直した。

- ⇒ トラックの積載率向上によるコスト低減
- ⇒ 倉庫の受入頻度低減による作業効率向上



④ 共同調達の実績

24

【他電力との共同調達】

○ スマートメーター本体について、他電力会社と共同調達に取り組み、スケールメリットによるコスト低減を図りました。

【ほくでんグループ大の共同調達】

○ グループ共通で調達する複合機、通信費、プリンタナー、警備業務等の一般資機材・サービス系委託を対象に、共同調達に取り組み、バーゲニングパワーによるコスト低減を図りました。

【参考事例】スマートメーターの調達

【導入計画】

- 当社は、「見える化によるお客さまの電気の効率的ご利用の促進」、「料金メニューの多様化による需要抑制」、および「業務の効率化によるコストダウン」などに資するスマートメーターを導入しております。
- 導入にあたっては、既設メーターの検定有効期間(10年)満了による取替に合わせた導入が効率的なため、これまでは10年間での導入を検討してきましたが、早期導入の要望に応えるべく、現行施工能力の範囲内での最大限の努力を見込んだ結果、導入完了時期を1年前倒しすることとしました。
- これにより、スマートメーターの導入を開始する平成27年度から平成35年度までの9年間で、低圧でご契約の全てのお客さまへの導入を目指し取り組んでいきます。

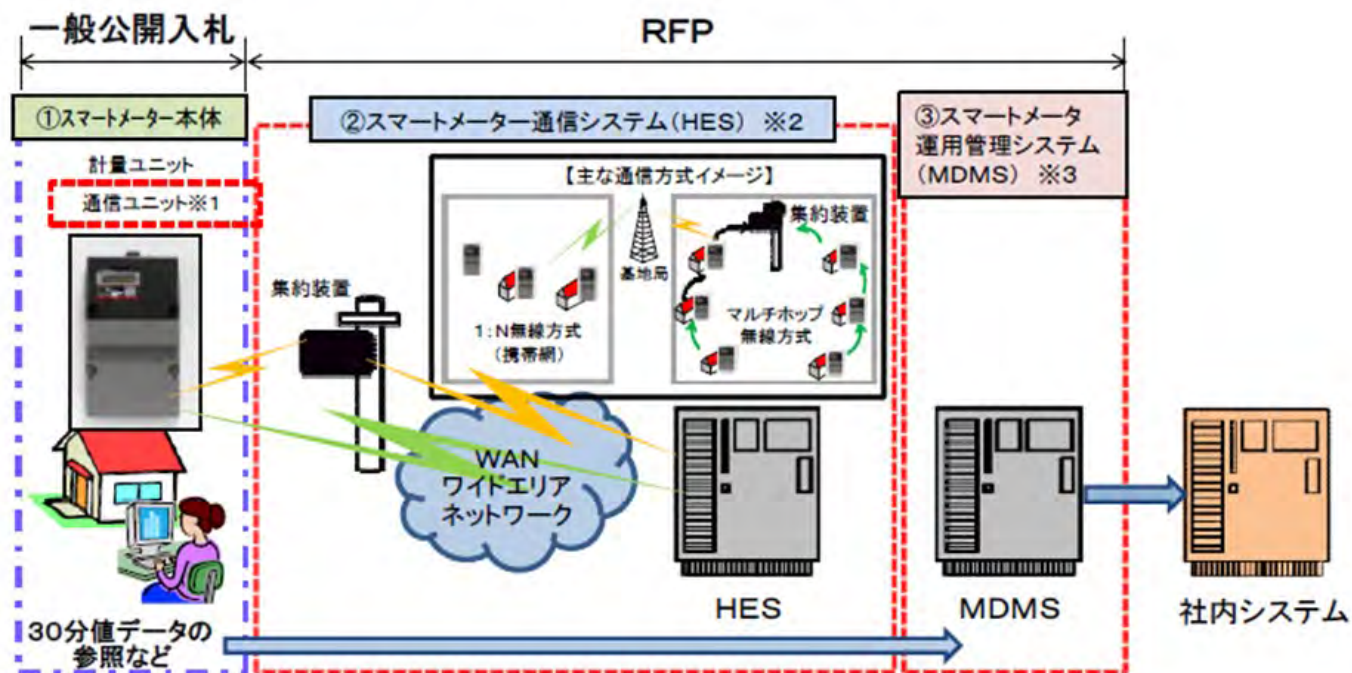
【コスト低減・透明性確保に向けた手組み】

- スマートメーターの導入に向けては、「コスト低減」、「透明性の確保」を基本として手組みを進めています。
- 具体的には、スマートメーターに関連するシステム開発等について、平成26年1月に公募型プロポーザル(RFP)※を実施済みです。
※ 公募による参加者からの具体提案を受け、調達先を選定する方法
- また、スマートメーター本体の調達についても、北陸電力(株)殿および四国電力(株)殿と共同調達を実施し、スケールメリットを活用して、調達コストを低減しております。

④共同調達の手組み

【参考事例】スマートメーターの調達

【スマートメーター設備構成図】



※1: 通信ユニットは、スマートメーター通信システム※3としてRFPによりメーカーを選定。

※2: 各種通信方式(マルチホップ、携帯、PLC等)に応じて、スマートメーターの通信ユニット間とのアクセスを集約・管理。

※3: スマートメーター機器管理、30分値データの収集・管理、スマートメーター内蔵開閉器の遠隔操作等を行うシステム。